



うさ本ファミリー

楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

第100号

発行日

2015年9月19日

(毎月19日発行)

第34回 子育て支援コーナー企画展示

「秋は家族であそびにいこう!

～外遊び・お出かけスポットとお弁当の本～」

が始まりました。

期間：平成27年8月25日(火)～平成27年11月中旬
(閲覧室等の改修工事の前日まで)



新しい本が 入りました。

()内の数字は
棚の番号です

『バイバイ、おね
しょ!』

富部志保子／著
朝日新聞出版／刊

2015.8

(支援1-4)

『子どもが賢く育つ
たった1つのコツ

「伝説の幼児教室」
の先生が教える』

福岡潤子／著
青春出版社／刊

2015.8

(支援3-2)

『絶対楽しい!親子
で行けるおいしい工
場見学 おなじみの
人気食品や飲み物な
どの工場へGO!』
キョーハンブッ
クス／刊

2015.7

(支援4-1)

『発達が気になる子
の「できる」を増や
すからだ遊び 入学
前からはじめよう』

笹田哲／監修
小学館／刊

2015.8

(支援4-3)

夏休みが終わってしばらくすると、秋の行楽シーズンがやってきます。暑さが和らぐと、小さいお子さんも外遊びがしやすくなります。連休や週末にちょっと遠くへ旅行するのもいいですね。気候の良いこの時期に、家族で自然の中で遊んだり、美術館や動物園などの楽しい施設にお出かけしませんか?

そこで、当コーナーでは、「旅行ガイドブック」「外遊びの本」「美術館・動物園・水族館などお出かけスポットの本」「お弁当・アウトドアクッキングの本」など、家族でお出かけをするときに役立つ本、約200冊を展示・貸出しします。どうぞご利用ください!

子育て応援団を紹介します。 第6回

さぬきこどもの国②

今回は、さぬきこどもの国「わくわく児童館」で、いろいろな遊びのプログラム（工房プログラム）を担当しているスタッフの方のインタビューをお送りします。



まっちゃん こと
高町昌都さん
(科学工房担当)



Q1 さぬきこどもの国で働こうと思った動機

A : もともと子どもが好きで、大学で物理の教員免許を取得し、県外の科学館でボランティアもしていました。民間企業に勤めましたが、子どもに関わりたくてこちらにきました。

Q2 お仕事で印象深かったことはありますか。

A : 科学工房の担当として、プログラムを考えて準備し、週に4回の「わくわくサイエンスタイム」を行っています。参加した子どもが楽しいと言ってくれるのが一番うれしいです。今までで好評だったのは液体窒素の実験で、凍らせたバナナで釘を打つものです。今年も9月末まで行っていますのでぜひ来てください。

Q3 園内のおすすめスポットを教えてください。

A : YS-11型飛行機展示場、ことでん車両展示場。それと、東ウイングの「さぬき」の石文字がある花畑は、飛行機の写真がきれいに撮れておすすめの場所です。



りっちゃん こと
増田梨沙さん
(工房のチーフ)



Q1 さぬきこどもの国で働こうと思った動機

A : 高校、大学とフルートを専攻し、将来は音楽の先生になろうと思っていました。さぬきこどもの国の音楽工房は自分の専攻を活かせる仕事だと思いました。

Q2 お仕事で印象深かったことはありますか。

A : 以前は音楽工房の「ごきげんパーク♪」の時間に、フルートを吹いて子どもたちと合奏したりしていました。参加した子のお母さんから、お家でフルートを吹くまねをしていたとお聞きして、フルートを知るきっかけになれたと思い、印象深かったです。

今は工房のチーフとして、各スタッフのやりたいことを実現できるようがんばっています。子どもたちは遊ぶ時間・場所・仲間が減ってきているので、しっかり遊びを提供し、遊んだ先に学びがあるとうれしいと思っています。

Q3 園内のおすすめスポットを教えてください。

A : 館内の喫茶コーナー。天気がいいと瀬戸大橋が見えます！

西ウイングのスペースプラザの端にある日時計は、決まった場所に立つと、影の位置で時間が分かって楽しいです。

工房プログラムの内容は、ホームページをご覧ください。

さぬきこどもの国ホームページ：<http://www.sanuki.or.jp/>

編集後記 今回「楽しく子育て！」は平成19年の創刊から数えて第100号を迎えました。私が編集したのはそのうち25号ほどですが、もう100号！と驚きを感じます。創刊号の表紙は、できたばかりで、まだあまり本がないコーナーの写真でした。今では本も増え、毎日多くの方にご利用いただいています。これからも子育て中のみなさんの役に立つ情報をお伝えしたいと思います。(H)